

補助事業番号 21- 1-139
補助事業名 平成 21 年度 世界少年野球大会の開催 補助事業
補助事業社名 財団法人 世界少年野球推進財団

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

世界少年野球大会は、日米のホームランキング王貞治、ハンク・アーロンの両氏が、正しい野球を全世界に普及・発展させるとともに、世界の少年少女たちが国際交流を通じて相互の理解を深め、世界平和と健全育成の促進に寄与しようとの趣旨で開催しています。1990 年に第 1 回大会をアメリカ・ロサンゼルス市にて開催して以降、毎年アメリカ、カナダ、プエルトリコ、日本で継続して開催してきました。

本年度は、第 20 回記念大会として東京都で開催する予定でしたが、昨年秋以降の急速な世界経済不況の影響を受けたことから、大会規模を縮小して国際交流試合のみ実施することになりました。本年度開催した「世界少年野球フレンドシップ東京大会」は、来年度開催する第 20 回世界少年野球大会のプレ大会として、2016 年オリンピックの開催地に立候補している東京都の招致活動を支援し、オリンピックでの野球競技の復活キャンペーンを兼ねて開催しました。

本事業は、午前は海外から参加したチームと東京都のチームが国際交流試合を行い、午後には海外チーム参加者が交流行事に参加して、日本や東京の文化に触れる機会を作りました。参加した子ども達は友情と信頼の輪を広げ、貴重な国際親善を経験しました。

(2) 実施内容

〈大会名称〉

世界少年野球フレンドシップ東京大会

〈大会テーマ〉

「Where A Game Of Catch Can Connect The World」

〈事業内容〉

1. オーストラリア、カメルーン、カナダ、ドイツ、台湾の少年少女野球チームと東京都の少年少女 10 チームが国際交流試合で対戦しました。
2. 日本や東京の文化に触れる交流行事を実施しました。

〈期日〉平成 21 年 7 月 26 日（日）～7 月 30 日（木）

〈会場〉大田スタジアム 大井ふ頭中央海浜公園・スポーツの森野球場

〈参加チーム宿舎〉品川プリンスホテル

〈国際交流試合 参加国・地域〉

海外：オーストラリア、カメルーン、カナダ、ドイツ、台湾の各 1 チーム

日本：東京都 10 チーム 以上の 6 か国・地域

〈参加人数〉

少年少女： 257名（海外71名、日本186名）
監督・コーチ： 44名（海外15名、日本29名）
（合計）： 301名（海外86名、日本215名）

〈日程〉

7月26日(日) 各国少年・少女到着、受付、登録、用具配布
7月27日(月) 用具配布
練習（大井ふ頭中央海浜公園）
交流行事1（葛西臨海公園）
7月28日(火) 練習試合（大井ふ頭中央海浜公園）
ウェルカムパーティー（品川プリンスホテル）
7月29日(水) 記念撮影、開会式（大田スタジアム）
交流試合1（大田スタジアム、大井ふ頭中央海浜公園）
交流行事2（JAL整備工場見学、プロ野球観戦）
7月30日(木) 交流試合2（大田スタジアム、大井ふ頭中央海浜公園）
交流行事3（都庁、NHKスタジオパーク）
7月31日(金) 各国少年・少女帰国

3. 予想される事業実施効果

本事業終了後に開かれたIOC総会で、東京都のオリンピック招致とオリンピックでの野球競技の復活は実現しませんでした。しかしながら、本事業では世界的な野球の広がりや印象付ける女性と少女の活躍が印象的でした。海外から参加したオーストラリア、ドイツ、カナダの3チームは女性コーチが参加し、カナダからは少女だけで編成されたチームが出場しました。オーストラリアとドイツのチームにも少女の選手が入っていて、野球が女子のスポーツとして普及しつつあることを実感しました。

従来よりも短い開催期間でしたが、参加した子ども達は国際交流試合や交流行事を通じて相互理解を深め、友情と親善の輪を広げることが出来ました。

子ども達は他国でも野球に親しむ仲間が大勢いることを知り、野球を通じて友情が芽生えることを体感しました。今後は子ども達がそれぞれの国や地域で、野球を続けてくれるだけでなく、野球を通じて出来た新しい友達と連絡を取り合い国際的な交流を続けてくれるものと期待しています。

これからは少女の野球愛好家が増えていくことが予想されます。性別に関係なく次世代を担う子ども達が野球に親しむことで、野球競技の普及が世界的に促進されるものと期待しています。

交流行事に参加した海外の子ども達は、日本や東京の文化に触れることが出来ました。本事業が他国の文化を理解する良い機会になったことと思います。

4. 本事業により作成した印刷物等

- ① ポスター
- ② 総合プログラム

5. 事業内容についての問い合わせ

団体名： 財団法人 世界少年野球推進財団 (サ`イﾀﾞﾝホウジン セカイシヨウネンヤキウスイシンサ`イﾀﾞﾝ)

住 所： 102-0074

東京都千代田区九段南 4-2-10 小林ビル 2 階

代表者： 理事長 王 貞治 (リジチヨウ オウ サダハル)

担当者名： 飯田 邦雄 (イイダ クニオ)

電話番号： 03-5212-4466

F A X： 03-5212-1189

E-mail： wcbf@wcbf.or.jp

U R L： <http://www.wcbf.or.jp/>